

年 譜 (昭和 24~54 年)

- | 昭和 | 西暦 | 月 | 日 | | |
|----|------|-------|---|--|---|
| 24 | 1949 | 5-11 | | 生産技術研究所設立準備のため生研運営機構小委員会が置かれ第 1 回委員会開催。 | g) の公開飛しょう実験を実施。 |
| | | 5-31 | | 国立学校設置法により生産技術研究所が設置された。 | 8- 秋田県由利郡道川海岸にロケット実験場設置。 |
| | | 5-31 | | 瀬藤象二教授初代所長となる (～26. 3. 31) | 8- 6 ベビーロケット (全長 1,340cm) 飛ぶ。 |
| | | 7- 6 | | 「生産研究」編集委員会第 1 回。 | 31 1956 4- 1 生産技術研究所留学研究員採用内規適用さる。 |
| | | 9- 2 | | 生研運営機構中央工作合同委員会第 1 回。 | 9-24 カップ・ロケット飛しょう打上実験。 |
| | | 9-22 | | 生産技術研究所勤務発明暫定規程施行さる。 | |
| | | 10- 1 | | 「生産研究」第 1 号が発行された。 | |
| | | 11-12 | | 生産技術研究所の開所式と開所披露を開催した。
委託研究手続が制定された。 | 32 1957 1-15 生研新館第 2 期工事竣工。
3- 西千葉に RC の新館が完成した。
4- 1 谷安正教授所長になる (第 4 代, ～33. 3. 31)
4月～5月
2 段式カップ・ロケット飛しょう実験施行。
7-29 ロケット観測協力会成立す。
7- 第 3 回国際地球観測年始まる (～33. 12). カップ 6 型ロケット (長さ 3 m 余, 重さ 390kg, 2 段式) をもって, 観測に成功した。
8- 1 1 トン試験高炉実験開始。
9-20～22
カップ IV 型ロケット実験飛しょうを実施。
10- 1 生産研究編集委員会を出版委員会に改組。
11-20 教授会において麻布移転要請を決議した。
11- 麻布新竜土町旧歩兵第 3 連隊跡の使用希望無の照会が文部省よりあった。 |
| 25 | 1950 | 3-11 | | 「東京大学生産技術研究所受託規定」制定さる。 | |
| | | 3-28 | | 第二工学部第 7 回卒業式挙行。 | |
| | | 4-26 | | 理工研生研連絡会議第 1 回。 | |
| | | 5-25 | | 「生研報告」第 1 号が発行された。 | |
| | | 9-21 | | 中間試験審議委員会第 1 回 (昭和 26 年度より特別研究審議委員会に改む) | |
| 26 | 1951 | 2-20 | | 東大評議会で工学部分校設置規則を制定した。 | |
| | | 3-28 | | 第 8 回卒業式 (第二工学部として最終回) が挙行された。 | |
| | | 3-28 | | 第二工学部閉学式が挙行された。 | |
| | | 4- 1 | | 兼重寛九郎教授所長となる (第 2 代, ～29. 3. 31)。 | 33 1958 2-10 K122S と π ロケット飛しょう実験を行なう。
3-31 福田武雄教授所長になる (第 5 代, ～36. 3. 30)。
4- 1 営繕委員会発足す。
4- 生産技術研究奨励会の育英奨学制度制定。
5- 2 東京大学受託研究員規程適用さる。
6-18 営繕委員会規程実施。
6-18 常務委員会規程実施。
6-18 「生産技術研究所報告」発行内規実施さる。
6- 生研商議会(25-4-26, 第 1 回)は 30-6-11 に 5 回目を開催した後休止していたが解散した。
6- 大蔵省管財局長から総長宛十條兵器廠跡約 8 万坪の使用が提案された。
10- 1 出版委員会規程実施。 |
| | | 4- 1 | | 工学部分校の開所式が行われた。 | |
| | | 4- 1 | | 写真委員会設置。 | |
| | | 4- 1 | | 輪講会世話人会設置。 | |
| 27 | 1952 | 11-24 | | 財団法人生産技術研究奨励会設置さる (28-12-25, 文部大臣より財団法人認可)。 | |
| 28 | 1953 | 4- 1 | | 東京大学における新制大学院教育開始。 | |
| | | 12- | | 「航空電子工学および超音速航空工学連合研究班」結成され, ロケットの協同研究開始さる。 | |
| 29 | 1954 | 3-27 | | 工学部分校の卒業式が行われた。 | 34 1959 3- 9 関東地方国府有財産審議会においてハーディバラックス跡地一部を生研と物性研に割当てることが決定された。
3-16 教授総会にて麻布移転が決議された。
4- 理工研生研連絡会議を航研生研連絡会議に改む。
5-30 開所 10 周年の記念行事開催。
5- 移転委員会 (委員長福田武雄所長) が設置された。
6- 1 東京大学生産技術研究所「10 周年誌」(生産研究, Vol. 11, No. 6) が発行された。
7-10 千葉実験場計画を東大から文部省へ正式に申 |
| | | 3-31 | | 星合正治教授所長となる (第 3 代, ～32. 3. 31)。 | |
| | | 4-30 | | 将来計画委員会第 1 回, 33-4 月より技術管理委員会と合併営繕委員会となり今日に至る。 | |
| | | 4- | | 研究生制度設置。 | |
| | | 5-31 | | 生産技術研究所開所 5 周年記念行事挙行。 | |
| | | 6- 1 | | 以後開所記念行事を行うようになった。 | |
| 30 | 1955 | 2-17 | | 整備委員会第 1 回。 | |
| | | 4-14 | | ペンシル・ロケット (全長 23cm, 重さ 230 | |

- しいれた。
- 8-1 ロケット・カップ6型特集号発行(生産研究).
- 11-1 精密圧延機特集号発行(生産研究)
- 35 1960 放射線同位元素工学部門設置さる(35年度)
- 3-1 ロケット・ロクーン第1号特集号発行(生産研究).
- 10-1 製鉄技術特集号発行(生産研究).
- 12-1 ロケット特集号—5年のあゆみ—発行(生産研究).
- 36 1961 超高層観測機器学, 超高層電子工学部門設置さる(前者は39年度, 後者は40年度に宇宙航研へ移管された).
- 2-1 東京移転開始(第3部, 第5部).
- 3-31 藤高周平教授所長になる(第6代, ~39. 3. 30).
- 4- 発明特許制度審議会発足す.
- 5-1 自動車の研究特集号発行(生産研究).
- 6-7 生産技術研究所放射性同位元素委員会規程実施.
- 10-1 ロケット・カップ8, 9型特集号発行(生産研究).
- 12-1 精密圧延機特集号発行(生産研究).
- 37 1962 マイクロ波工学, 電子演算工学の2部門設置さる(37年度).
- 1- 第1部・第2部移転完了す.
- 2-1 ロケット特集号発行(生産研究).
- 2-2 鹿児島内之浦に宇宙空間観測所起工式挙行.
- 2- 事務部移転完了す.
- 2- 正式移転(37年3月, 移転一応完了).
- 3- 第4部移転完了した.
- 3-31 生産技術研究所試験溶鉱炉委員会規程実施.
- 4-1 東京移転完了.
- 4-1 生産技術研究所研究担当・研究員取扱内規適用さる.
- 4- 千葉実験場管理運営委員会発足す.
- 8-1 光工学特集号発行(生産研究).
- 11-8, 9, 10 東京移転披露および研究所公開.
- 38 1963 情報処理工学部門設置さる(38年度).
- 3-6 講習会委員会発足す.
- 4- 試験溶鉱炉委員発足す.
- 4- 放射性同位元素委員会発足す.
- 4- 電子計算機委員会発足す.
- 7-1 カップ8L・8・9L・9M型特集号発行(生産研究).
- 7-13 生産技術研究所研究生規程施行さる. ただし適用は4月1日にさかのぼる.
- 11-6~8 第1回生研講習会(構造力学の諸問題)開催.
- 12-7 航空写真による地すべり調査に関するシンポジウム開催(日本写真測量学会に協力).
- 12-9 KSC(鹿児島宇宙空間観測所)開所式挙行.
- 39 1964 1-1 講習会委員会規程施行.
- 3-27 ソ連科学アカデミー学術視察団3名来所(研究室見学).
- 3-31 岡本舜三教授所長となる(第7代, ~42. 3. 30).
- 4-1 東京大学宇宙航空研究所設置さる(生研のロケット部門がこれに移った).
- 6-16 新潟地震の被害調査を行なう.
- 6-24 第2回生研講習会(加工における諸問題)開催.
- 7-11 ラムダ3型1号機高度1,000kmに達し, 各種の観測に成功した.
- 10-1 新潟震害特集号発行(生産研究).
- 11-1 ラムダ・ロケット特集号(生産研究).
- 12-22 千葉実験場正門竣工式挙行.
- 40 1965 生産施設防災工学部門設置さる(40年度).
- 1-6 東京大学生産技術研究所将来計画委員会規程施行.
- 1-13 将来計画委員会第1回委員会(42. 3. 22まで37回).
- 4-22 中国物理儀器代表団員8名来所, 地震および耐震に関する研究連絡および見学, 試作工場竣工式挙行,
- 4- 宇宙航空研究所にロケット研究部門が移った.
- 4- 東京大学大学院研究科の分類変更され, 生研の大部分の教授・助教授は工学系研究科に, 一部は理学系研究科に属することとなる.
- 5-14 国際地震工学研修生15名来所.
- 6-7 ソ連半導体視察団来所.
- 6-11 オランダ建築産業視察団来所.
- 6-16 財団法人生産技術研究奨励会育英奨学生取扱規程実施さる.
- 6-17 皇太子殿下御来所. 研究施設・研究状況を見学される.
- 6-23~25 第3回生研講習会(近代材料の諸問題)開催.
- 7-5 中華人民共和国ダム・電力代表団(団長黄文照ほか団員)来所見学.
- 7-10 地震災害と航空写真のシンポジウム開催.
- 7-22 津浪高潮実験施設運営委員会第1回.
- 10-28 ハウスベリー伯爵(英)ら OECD 審査員団来所.
- 11-1 防災. 公害特集号発行(生産研究).
- 41* 1966 動的材料強弱学部門設置さる(41年度). 耐震構造の研究に寄与するため大型振動台が設置された(41年度).
- 1-19 「生産技術研究所将来計画委員会報告」が教授総会で了承された.
- 2-9 ブルガリア建設国家委員会委員長ブランコフ教授ら来所.
- 2-17 西独フリーデルチアナ工科大学カール教授ほか一行来所見学.
- 2-18 スイス政府派遣エレクトロニックス調査団来所.
- 3-8 「生産技術研究所将来計画委員会報告」東京大学総合計画委員会に報告された承さる.
- 5-16 ソ連化学工業使節団来所.
- 5-20 日米工学教育会議参加の米国側委員ら来所.
- 6-22~24 第4回生研講習会(スイッチング回路)開催.
- 7-27 ニューゼaland工業大学学長ケイヤー氏来所.
- 9-27 佐藤総理大臣, 文部大臣その他を帯同来所; 研究施設・研究状況を視察.
- 10-14 西独鉄鋼関係技術者4名来所.
- 10-27 日本地震工学シンポジウム参加の外人研究者

- ら来所。
- 11- 9 人事院公災実地調査のため職員局厚生課長補佐ら来所。
- 42 1967 耐震機械構造学部門設置さる (42年度)。FACOM-270-30 を設置し on-line の情報処理に関する研究を開始した。
- 3-31 菊池貞一教授所長となる (第8代, ~43. 11. 14)。
- 4-15 ニューゼーランド農相兼科学技術長官ら同国大使と来所見学。
- 5-17 東大聴講生として滞日中のネパール国皇太子殿下御来所, この日より4日間にわたり村松助教授から日本の近代化に関する特別講義を受けられる。
- 5-18 所史調査委員会設置さる (~44. 3. 12)。
- 6- 1 千葉実験場は千葉実験所と名称変更 (文部省令第11号)。
- 6-28~30 第5回生研講習会 (環境開発の技法) 開催
- 7- 7 所史調査委員会第1回開催 (~19回, 44, 2. 14)。
- 7-19 所史調査委員会規程承認さる。
- 7-19 東京大学生産技術研究所千葉実験所規程施行。
- 10-27 衆議院専門調査員ら来所。
- 12- 4 千葉実験所開所式挙行。
- 43 1968 1- 1 「自動車と自動車交通」特集号発行 (生産研究)。
- 2- 1 「公害対策」特集号発行 (生産研究)。
- 3-11 ミュンヘン工科大学高電圧研究所長ハンス・ブリント教授来所。
- 3-11 医学部17名の学生処分を発表, 東大紛争にわかには拡大する。
- 3-28 学生の妨害によって東大の卒業式は中止。
- 4- 1 生研事務部に部課制がしかれた。
- 4-17 生産技術研究所電子計算機委員会規程実施
- 6-15 全学共闘会議系学生ら安田講堂占拠
- 6-17 警官隊を導入して安田講堂の占拠を排除 (7. 2再占拠)。
- 6-26~28 第6回生研講習会 (耐震・防震の考え方) 開催
- 8-10 大河内総長, いわゆる「8. 10告示」を発表。
- 11- 1 大河内総長「学生諸君へ」なる見解を発表して退陣。
- 11- 4 加藤総長代行ら新執行部発足。
- 11- 9 ISO/TC 98/W G-1 「地震荷重」国際会議参加者来所。
- 11-13 ソ連ダム視察団ハムラエフ氏ら来所
- 11-14 一色貞文教授所長となる (第9代, ~46. 11. 14)。
- 11-16 第二工学部25周年記念会を生研講堂で開催した。
- 11-16 「東京大学第二工学部史」が発行された。
- 12-17 ソ連科学アカデミー地球物理研究所副所長ボルシェビッチ教授ら来所
- 12-29 東大は来春の入試は中止せざるを得ないがなお努力を続けると公表。
- 44 1969 1- 7 東大に「大学改革準備調査会」設置さる
- 1-10 七学部の学生代表団と確認書に署名
- 2-10 「改革調査委員会」を設置することが教授総会で決定された
- 3-28 千葉実験所に保存書庫を設置
- 4- 1 東京大学総長事務取扱加藤一郎教授, 総長に就任
- 4-16 電子計算機室が設置さる
- 4-18 大学問題所内第1回シンポジウム開催
- 4-24 大学問題所内第2回シンポジウム開催
- 5- 1 東京大学生産技術研究所『20周年誌』発行
- 5-22 第2回日ソ製鋼物理化学シンポジウム, ソ連使節団来所 (団長 Samarin Aleksandre Mikhailorich 氏, ほか9名)
- 5-29 生産技術研究奨励会総会理事会・評議員会開催
- 5-29~30 研究所公開, 研究室を公開して講演と映画の会を行った
- 5-30 木内四郎科学技術庁長官来所
- 6-16 生研ニュース第1号発行
- 6-25~27 第7回生研講習会開催, テーマは「イメージサイエンスとイメージテクノロジー」
- 7-30 大学問題所内第3回シンポジウム開催
- 8- 1 大学問題所内第4回シンポジウム開催
- 8-13 昭和44年会計実地検査実施
- 10- 1 三島新吉事務部長就任
- 10- 3 生研運動会 (主催・弥生会) を東大検見川グラウンドにおいて開催
- 11-20 生産技術研究奨励会総会・理事会・評議員会開催
- 11-21 岡谷市校長会々員10名来所, 見学
- 12- 4 ソ連水工学研究所 Savnoff 氏ほか3名来所
- 12- 5 中華民国政府 Ying-tsu Mao 氏ほか10名来所
- 45 1970 1- 9 海外技術研修センター研修生13名来所, 見学
- 2-20 地下鉄千代田9号線新設工事のため敷地内の音響実験室を移転することになり, 移転予定地の建物ととりこわし工事を開始
- 3-11 予算委員会解散
- 3-24 10人の会 ('68. 12. 11設置) 解散
- 3-25 第1部 岡本舜三教授退官記念講演が行われた。講演題目は「耐震工学30年の歩み」
- 4- 8 大学問題所内第5回シンポジウム開催
- 5-13 " 第6回 "
- 5-18 中華民国科学技術視察団 閻振興団長ほか6名来所
- 5-22 大学問題所内第7回シンポジウム開催
- 5-28, 29 研究所公開, 研究室公開および講演, 映画会開催
- 5-28 財団法人生産技術研究奨励会, 理事会・評議員会合同会議
- 6-24~26 第8回生研講習会開催 (第一次), テーマは, 「マトリックス法の応用」
- 7- 1 「事中務機構改善委員会」設置さる
- 7-8~10 第8回生研講習会開催 (第二次), テーマは, 「マトリックス法の応用」
- 7-15 「将来計画委員会」設置さる
- 7-16 麻布庁舎における冷暖房装置の運転開始
- 8-12 昭和45年度会計実地検査実施
- 9-30 音響実験室竣工 (地下鉄工事に伴う建替え)
- 9-30 共同利用研究室および車庫竣工
- 10-27 生研運動会 (主催・弥生会) を東大検見川グラウンドにおいて開催

- 10-30 希用図書約26,000冊を麻布から千葉実験所の保存書庫に搬入完了
- 11-11 試作工場特別委員会設置 (～46.3.29)
- 11-30 財団法人生産技術研究奨励会、理事会・評議員会合同会議
- 12-13 岡宗次郎名誉教授逝去
- 46 1971 1-1 東京大学受託研究取扱規則が制定され、本所受託規定が廃止
- 1-30 日本歴史地理学会会員20名来所見学
- 3-17 臨時事業研究費の示達があり「臨時事業委員会」設置さる
- 3-19 計測記録測定室竣工 (千葉実験所)
- 3-20 旧第一海軍燃料廠 (大船) より受け入れた図書8,148冊の整理を完了 (42年度より)
- 3-24 退官記念特別講演会が開催された
第4部 江上一郎教授、題目「マグネシウムと私」
第5部 星 埜 和教授、題目「道路を中心とする技術と交通問題」
- 4-1 臨時事業費第1次申請「都市災害・公害の防除に関する研究」(46～48年度)認められる。予算総額265,791千円
- 4-1 試作工場専任の工場長退官、当分の間教官が併任することとなった
- 4-19 インドネシア国立科学研究所 スマントリイ次長ほか2名来所見学
- 4-23 大蔵省 原主計官来所見学懇談
- 5-13 昭和工事(株)幹部社員4名来所見学
- 5-27, 28 研究所公開、研究室公開および講演、映画会開催
- 5-27 財団法人生産技術研究奨励会、理事会・評議員会合同会議
- 6-23～25 第9回生研講習会開催 テーマ「工学における新しい化学計測」(公害対策の基礎知識として)
- 7-21～22 昭和46年度会計実地検査実施
- 8-21 渡辺要名誉教授逝去
- 10-28 第1回臨時事業「都市における災害・公害の防除に関する研究」研究発表会 テーマ「都市機能の定義と都市災害防除の理念」、「交通信号制御手法の問題点と今後の研究課題」
- 11-2 第2回臨時事業研究発表会 テーマ「地下埋設管の地震時挙動」、「沈埋トンネルの解析」
- 11-14 鈴木弘教授所長となる (第10代、～49.11.14)
- 11-16 生研運動会 (主催 弥生会) を中庭において開催
- 11-16 韓国、京城大学工学部長ほか4名来所見学懇談
- 11-17 「改革委員会 (教官)」設置さる
- 11-25 第3回臨時事業研究発表会 テーマ「都市廃棄物処理対策開発研究の概要」、「都市廃棄物処理の実態調査報告」
- 12-7 財団法人生産技術研究奨励会 理事会・評議員会合同会議
- 12-17 第4回臨時事業研究発表会 テーマ「建築物の耐震設計とその問題点」、「新設の動的破壊試験装置について」
- 47 1972 1-7 財団法人生産技術研究奨励会臨時理事会
- 1-25 第5回臨時事業研究発表会 テーマ「ハイブリッド・シミュレーションによる交通流の解析」、「新設の交通流シミュレータとその臨時事業における課題」
- 2-2 「新電子計算機導入委員会」設置さる
- 2-24 第6回臨時事業研究発表会 テーマ「都市廃棄物処理の現状調査ならびに研究」
- 3-10 カナダ科学技術使節団(第5グループの3名)来所見学懇談
- 3-21 後藤信行助教逝去
- 3-22 退官記念特別講演会が開催された
第3部 森脇義雄教授 題目「二工・生研の30年を振り返りて」
第3部 沢井善三郎教授 題目「制御システムの問題点」
- 3-24 第7回臨時事業研究発表会 テーマ「免震構造は可能か」
- 4-1 田中源二事務部長就任
- 4-25 第8回臨時事業研究発表会 テーマ「交通騒音について」
- 5-10 大蔵省 青木主計官来所視察
- 5-11, 12 昭和47年度会計実地検査実施
- 5-26 第9回臨時事業研究発表会 テーマ「高分子化合物に対する光の作用」
- 5-30, 31 研究所公開、研究室公開および講演、映画会開催
- 5-30 財団法人生産技術研究奨励会、理事会・評議員会合同会議
- 6-23 第10回臨時事業研究発表会 テーマ「埋設管の地震時挙動」
- 6-28～30 第10回生研講習会開催 テーマ「画像情報の処理と伝達」
- 7-20 第11回臨時事業研究発表会 テーマ「振動公害について」
- 7-28 住友金属工業(株)社員60名来所見学
- 9-6 財形貯蓄制度が適用される
- 9-6 東京都震災予防条例の規定に基づき、麻布庁舎敷地が避難場所に指定される
- 9-9 朝鮮金作工業大学講座長ほか10名来所見学懇談
- 9-14 第12回臨時事業研究発表会 テーマ「プラスチック無機充填剤系材料の燃焼特性」
- 10-3 生研運動会 (主催 弥生会) 検見川総合運動場で開催
- 10-18 (株)日本紙パルプ研究所企画委員ほか15名来所見学
- 10-20 地下鉄千代田線 (乃木坂駅) 開通する
- 10-27 第13回臨時事業研究発表会 テーマ「繰返し荷を受ける鋼構造の部材」
- 11-16 第14回臨時事業研究発表会 テーマ「都市道路網における交通流配分のアルゴリズム」
- 11-30 財団法人生産技術研究奨励会 理事会・評議員会合同会議
- 12-15 第15回臨時事業研究発表会 テーマ「プラスチックの熱分解による軽質油の回収」
- 48 1973 1-26 第16回臨時事業研究発表会 テーマ「鉄筋コンクリート部材の動的破壊試験」
- 2-1 電子計算機室に新機種 of 230-55機が設置された
- 2-22 第17回臨時事業研究発表会 テーマ「汚損条件下における電力系統の絶縁信伏度」
- 3-23 第18回臨時事業研究発表会 テーマ「微分パルスポーラドグラフィによる微量重金属の分

- 析]
- 4-1 東京大学総長に林健太郎教授就任
 - 4-1 計測技術開発センター設置される
 - 4-5 「社会・共産・公明・民社」の各党国会議員来訪
 - 4-20 第19回臨時事業研究発表会, テーマ「耐震ダンパーの実験結果と制震機構の可能性」
 - 5-11 昭和48年度会計実地検査実施
 - 5-25 第20回臨時事業研究発表会, テーマ「交通信号制御の改善効果」
 - 5-29~30 研究所公開, 研究室公開および講演・映画会開催
 - 6-27~29 第11回生研講習会開催, テーマ「制御技術の基礎と応用」
 - 6-29 第21回臨時事業研究発表会, テーマ「アメリカにおける公害とその対策の現況」
 - 7-27 第22回臨時事業研究発表会, テーマ「沈埋トンネルの耐震性」
 - 9-26 生研運動会(主催 弥生会) 検見川運動場で開催
 - 9-28 韓国重化学工業分野教授団19名来所見学
 - 10-4 中国電子デバイス視察団9名来所見学
 - 10-24~26 第12回生研講習会, テーマ「第2回マトリクス法の応用」
 - 10-26 第23回臨時事業研究発表会, テーマ「交通制御方式の検討を目的とした自動車交通流のシミュレーション」
 - 11-3 瀬藤象二名誉教授 文化勲章受賞
 - 11-9 英国ロンドン王立協会訪日代表団2名来所見学
 - 11-12 千葉県機械金属試験場職員14名来所見学
 - 11-21 瀬藤象二名誉教授の文化勲章受賞祝賀パーティーを宴会館で開催
 - 11-30 第24回臨時事業研究発表会, テーマ「廃水の高度処理に関する調査ならびに研究」
 - 12-21 第25回臨時事業研究発表会, テーマ「配管系の強度とその周辺の研究」
- 49 1974
- 1-25 第26回臨時事業研究発表会, テーマ「交通騒音について」
 - 2-2 訪日ソ連イオン交換樹脂代表団4名来所見学
 - 2-28 第27回臨時事業研究発表会, テーマ「プラスチックの接触分解の研究」
 - 3-27 退官記念特別講演会が開催された。第1部 一色貞文教授 題目「X線応力測定とX線透過試験」
 - 4-1 臨時事業費第2次申請「災害・公害からの都市機能の防護とその最適化に関する研究」認められる(49~51年度) 予算総額210,202千円
 - 4-1 麻布庁舎における宿日直制度(守衛を除く)が廃止
 - 5-21 東京大学「創立百年記念事業委員会」・「百年史編集委員会」設置
 - 5-28~29 研究所公開, 研究室公開および講演・映画・写真展「生研25年の歩み」等開催
 - 7-8~8-21 本年度より生研セミナー開催。コース1「人間のかかわる機械系の制御と安全」ほか5コースまで
 - 8-28 生産工学国際会議来日教授団9名来所見学
- 9-25 生研運動会(主催 弥生会) 検見川運動場で開催
 - 10-30~31 第13回生研講習会開催「地震工学の最近の発展」
 - 11-14 武藤義一教授所長となる(第11代, ~52.11.14)
 - 12-2 フランス国立科学研究センター フィリップ氏来所見学
 - 12-11 ソビエト科学アカデミー シャフタフチンスキー氏来所見学
- 50 1975
- 2-8 谷安正名誉教授逝去
 - 3-26 退官記念特別講演会が開催された。第4部野崎弘教授 題目「工業物理化学とともに35年」構造物動的破壊実験棟竣工(千葉実験所)
 - 3-31 複合材料技術センター設置
 - 4-1 中国海洋学会海水淡水水化学技術交流団11名来所見学
 - 4-23 ポーランド・グダノスク工科大学教授のニエビアドムスキー氏本所で特別講演会を行う
 - 5-16 千葉実験所構造物動的破壊実験棟落成式挙行
 - 5-29~30 研究所公開, 研究室公開および講演・映画等開催
 - 5-30 1974~1975年度国際地震工学研修員11名来所見学
 - 7-1~1-23 生研セミナー開催。コース6-1「非線形問題解析ワークショップ」ほか14-2コースまで
 - 9-23 生研運動会(主催 弥生会) 検見川運動場で開催
- 51 1976
- 1-27~28 第14回生研講習会開催「最近の圧延技術と圧延理論」
 - 3-17 退官記念特別講演会が開催された。第2部平尾収教授 演題「災害・公害と安全について」
 - 3-24 退官記念特別講演会が開催された。第1部大井光四郎教授 演題「材料力学の大きな体系における小さな仕事」, 第2部鈴木弘教授 演題「塑性加工とともに40年」, 第4部 山辺武郎教授 演題「イオン交換とその関連分離法に関する研究」
 - 5-27~28 研究所公開, 研究室公開および講演・映画等開催
 - 5-28 文部省国際学術局学術課長・研究助成課長来訪
 - 6-2~3 中国耐震技術考察団来訪
 - 6-28~10-29 生研セミナー開催, コース15「リモートセンシングデータの処理と応用」ほか26コースまで
 - 7-22 韓国特別視察団来訪
 - 9-21 生研運動会(主催 弥生会) 船橋体育センターで開催
 - 10-17 海外有力研究機関へ本所視察団が出発, 事務部長同行(10.17~11.8)
 - 10-20 「複合材料研究連絡委員会規程」制定
 - 10-22 中国電子学会光電技術視察団来訪
- 52 1977
- 1-8 国家公務員に対する週休2日制の試行が本所

- において実施さる
- 1-18~20 第15回生研講習会開催「環境問題におけるコンピュータシミュレーションと制御技術」
- 2-15~17 第16回生研講習会開催「活性炭に関する最近の技術動向」
- 3-16 退官記念特別講演会, 第2部 水町長生教授「ラジアルタービンの非常常流特性について」, 第4部 加藤正夫教授「アイソトープと冶金学」
- 3-23 退官記念特別講演会, 第4部 中村亦夫教授「炭水化物に関する研究」, 第5部 井口昌平教授「日本の河川工学の近代化の一面」, 第5部 勝田高司教授「建築環境研究あれこれ」
- 3-29 複合材料強度実験室竣工
- 4- 1 東京大学総長に国防隆教授就任
- 4- 1 多次元画像情報処理センター設置
- 4-12 東京大学創立百年記念式典挙行(神田学士会館に於て)
- 5-26~27 研究所公開, 研究室公開および講演・映画
- 7- 1 河合丈夫事務部長就任
- 7-4~1-27 生研セミナー開催, コース27「リモートセンシングデータのコンピュータ処理と応用」ほか36コースまで
- 7-15 ソ連科学視察団来訪
- 9-13 複合材料研究会第1回開催(54年2月14日迄に11回開催)
- 9-21 麻布庁舎大型改修工事の予算要求が認められた
- 9-22 生研運動会(主催 弥生会)船橋体育センターで開催
- 10-20 瀬藤象二名誉教授(初代第二工学部長, 初代生産技術研究所長)逝去
- 11-14 田中尚教授所長となる(第12代)
- 12-12 庁舎外壁改修工事第1期開始(〜53.3.31)
- 12-24 共通第1次学力試験試行テストが実施された
- 53 1978 2-1~3 第17回生研講習会開催「振動騒音の基本的解析法と防止対策」
- 2-24 韓国科学財団学術事情調査団来訪
- 3-22 退官記念特別講演会, 第2部 亘理厚教授「機械力学回顧」
- 4- 1 特別事業費として「省資源のための新しい生産技術の開発」に対し第54,255千円が給付された
- 7-14 試作工場安全作業講習会実施(〜8.30)
- 7-70~1-24 生研セミナー開催, コース37「高速液体クロマトグラフィーの理論と応用」ほか45コースまで
- 7-29 国家公務員に対する週休2日制の再試行が本所において実施さる
- 10- 3 中国溶接学会視察団来訪
- 10-13 中国非破壊検査視察団来訪
- 10-25 韓国蔚山工科大学長来訪
- 11-10 庁舎外壁改修工事第2期開始(〜54.3.31完了)
- 11-18 中国有機構造・分析化学会代表団来訪
- 11-27 中国大学院研究体制視察団来訪
- 12-27 中国粉末冶金学会視察団来訪
- 54 1979 1-13~14 共通第一次学力試験が実施される
- 1-20 多次元画像情報処理センター棟着工
- 2-10 池辺陽教授逝去
- 2-28 試作工場共同利用工作室拡張工事完了

(村松貞次郎 編)